

悪質商法にご用心

消費生活 CONSUMERS

Case 4 心当たりのない最終通告請求のハガキが来た?

事例

東京で就職している息子宛に、最終通告請求のハガキが来た。

文面には「当社は債権回収サービスセンターです。過去に貴方様が利用した有料サイトの未納利用料金について当社が債権譲渡を承りましたので、大至急、当社にご連絡ください。尚、連絡のないお客様に関してはお支払いの意思がないものとみなしご自宅に直接回収に伺います。必ずご連絡いただけるようお願いいたします」とある。

東京にいる息子に問うたら、全く心当たりがないと言う。家に取り立てに来ると書いてあるので不安である。どうしたらよいか。(50歳・女性)

アドバイス

債権回収業を名乗る、悪質な架空請求が全国的に急増しています。ハガキ以外に電子メールや電報を使ったケースもあるようです。

何らかの名簿を入手した悪質業者が、その名簿に基づき、アトランダムに根拠のない請求を大量に送っているものと思われます。家族が使ったと思い込んで、支払う人達を狙った手口です。

不審な請求の場合は、ともかく無視することです。絶対に連絡をしないこと。個人情報(年齢、家族、勤め先、電話番号、メールアドレスなど)を聞き出され、その情報をもとに、さらなる請求が来るおそれもあります。

脅かされるなど怖い思いをしたら、すぐ警察に通報しましょう。送られてきたハガキは、証拠として保管しておきましょう。

ご相談ください  
消費生活相談

買い物や商品の品質、サービス、訪問販売などの契約に係わるトラブルなど消費生活に関する疑問、苦情などお気軽にご相談ください。

毎週水曜日・午前9時～午後4時 第2・4金曜日・午後1時～4時 市民相談室

お問い合わせ 市民安全課(内線249、235)



BOOKS INFORMATION  
新着図書のご案内

PICK UP

【児童図書】



おばけのこもりうた  
せなけいこ作/絵 童心社

「ひとつ、ひとつめこぞうがあくび、  
そろそろおやすみねんねよう」  
かわいいおばけがたくさんでてきて、  
かぞえ歌にもなっている。

一般図書

- 浮世道場 群ようこ著 講談社
- ありがとう物語 鈴木健二著 モラロジー研究所
- 汽車旅雑学おもしろノート 所沢秀樹著 有楽出版社
- 人間の心と法 河合隼雄/加藤雅信編著 有斐閣
- 生涯最高の失敗 田中耕一著 朝日新聞社
- メタルカラーの時代6 しぶといモノ作り 山根一真著 小学館
- はちみつ わっ、おいしいレシピ 主婦と生活社
- まひるの月を追いかけて 恩田陸著 文芸春秋
- 明治ちぎれ雲 平山寿三郎著 講談社
- トゲトゲの気持 阿川佐和子著 中央公論新社
- シカゴより好きな町 リチャード・ベック著 東京創元社
- 名もなきアフリカの地で シュテファニー・ツワイク著 愛育社

児童図書

- クジラも海でおぼれるの? 加藤由子著 偕成社
- 日本のてつどうなんでもいちばん! 別當律子文 小峰書店
- 親子でたのしむストロー工作 有木昭久作 福音館書店
- チビ竜と魔法の実 富安陽子著 偕成社
- おかのうえのカステラやさん 堀直子作 小峰書店
- “まちゃん”ってしてる? にしざわきょう作 草炎社
- ちびねこグールのぼうけん アン・ピートリ作 福音館書店
- すてねこタイガーと家出犬スポット リブ・フローデ作 文研出版
- とこちゃんとおばけちゃん かわかみたか作/絵 フレーベル館
- きょうりゅうたちのおやすみなさい ジェイン・ヨーレン文 マーク・ティグ絵 小峰書店
- ぼくだけのこと 森絵都作 スギヤマカナヨ絵 理論社
- たまごからうま 酒井公子再話 織茂恭子絵 偕成社

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181

あなたは  
喫煙派・禁煙派

考えよう! 「からだ・くらし・タバコ」

健康 HEALTH

7 未成年者の喫煙

未成年者の喫煙は、「未成年者喫煙防止法」という法律で禁じられています。しかし、タバコを吸い始めたのはいつ頃からときくと、40%の人が、10代から吸っているという報告があります。

京都府内高校生を対象にした喫煙実態調査でも、喫煙開始時期は、「中学生時」が54.0%と、過半数以上の子どもたちが中学時代から喫煙を開始しています。開始理由は、「好奇心から」が56.1%であり、仲のよい友達に誘われて吸い始めることが多いのですが、吸い始めたときにまわりの大人がどう対応するかで結果は違ってきます。吸う時期が早ければ早いほどニコチン依存性も高くなり、喫煙期間が長ければ長いほどやめることが困難になってくるため、できるだけ早いうちにやめることが大切です。

しかし、思春期にさしかかった子どもは、お説教したり頭ごなしに注意すれば、余計に反抗

的になることが多く、科学的な事実をありのままに伝える必要があります。

20歳未満で吸い始めた場合、喫煙指数(1日あたりに吸った本数×吸った年数)が200未満でも、肺がんや死ぬ危険性は、非喫煙者に比べ4.6倍も高くなり、若いほど肺の細胞が発がん物質の影響を受けやすいことや、ニコチンによる薬物中毒なのでやめようと思っても、中毒症状のためやめることが難しいことなどを正しく伝え、本人をささえる働きかけを大人がしていかなければなりません。子どもに禁煙させるためには、まず大人が禁煙することが手はじめといえるかもしれません。

健康管理課では、12月から妊婦や乳幼児をもつ保護者の方を対象にした禁煙教室の開催を考えています。禁煙を考えている方は、ぜひご参加ください。

お問い合わせ 健康管理課(内線333、338、339、357)

景観にみるむこうしの歴史

～ 鶏冠井の地名と日蓮宗 ～

歴史 HISTORY

向日市内東部の地区、鶏冠井(かいで)は、おそらく全国でもトップクラスの難読地名でしょう。

平安時代中期、この地は「蝦手井」(かえるてい)として記録に登場します。鶏冠井地区の西半分は向日丘陵東側の段丘、東半分は沖積低地です。段丘と低地の境目には、丘陵から扇形に流れ出た土砂が堆積し、そこを幾筋もの水が流れて小さな谷を作ります。このような地形と豊富な湧き水からの連想が、カ

エルの手と井の文字が付く地名のおこりかもしれません。

今から800年以上前の平安末期、この地には公家である徳大寺家の山荘や荘園が営まれます。貴

族ゆかりの土地にふさわしく、「蝦手」に形の似ている鶏冠木(楓「カエデ」の別字)という字を宛て、これに井の字をつけて「鶏冠井」となり、発音は「かいてい」→「かいで」と変化していったと考えられています。

鶏冠井の地は、西日本最古の日蓮宗集落としても知られています。関東におこった日蓮宗を、都にひろめるため、鎌倉時代の末に上洛した日蓮の孫弟子日像(にちざう)は、布教を妨害する勢力によって、何度か洛外追放処分になります。言い伝えによれば、西国へ行くこうとしていた日像は、向日明神の導きによって鶏冠井の地に留まり、説法して村内の真言宗寺院を、日蓮宗の真経寺へと改宗させました。同時に村人すべても改宗しました。鶏冠井の皆法華(かいぼけ、村全体が日蓮宗)の歴史のはじまりです。

現在、向日神社参道の入口にある「説法石」は、日像が腰掛けた石と伝えられ、また京都府の指定文

化財である「題目(だいもく)踊り」は、日像の教えを受けて改宗した村人の喜びを表現したものとされます。

また石塔寺は、西国街道沿いに日像が建てたと伝える題目石(南無妙法蓮華経を刻んだ石塔)への信仰から起こった寺院です。境内のお堂に「お塔さん」と呼ばれる石塔が、今も大切に安置されています。

豊臣秀吉の時代には、新しくできた町場向日町に接して、興隆寺という大きな日蓮宗寺院が創建されます。江戸時代に入ると、鶏冠井の村の中にあつた真経寺には、僧侶の学校「檀林(だんりん)」ができて、北真経寺となります。村人の信仰の中心は、興隆寺の境内に南真経寺として新たに建立されました。明治8年(1875)、興隆寺は廃寺となり檀林も廃止されますが、南北両真経寺は鶏冠井の人々の信仰の中心として、石塔寺もまた広く信者に支えられ、今日に至っています。



北真経寺の西門と本堂の屋根 平成15年9月撮影